

平成25年度小・中学校理科教育ステップUP!プラン事業

「小学校理科学校内研修支援事業」

実施報告

# 稚内市立稚内港小学校

\*学級数 10 \*児童数 76

支援員勤務学校名	職名	氏名	専門分野
北海道稚内高等学校	教諭	岡本 信幸	化学

## 【本事業のねらい】

「粒子」領域において、児童が理解しにくく、興味・関心が低い学習内容について、観察・実験などの具体的な体験を通して理解を図るための、教員の指導力向上を目的に実施した。

## 【実施内容】

2月5日 15:45~17:00、稚内港小学校理科室において、12名の教員を対象に、身近なものを用いて粒子の保存性を調べる実験のポイントや、ものが溶ける瞬間を観察する装置の作成、塩化アンモニウムの再結晶の実験等、「粒子」領域における観察・実験を、指導上の留意点等の説明を受けながら行った。



## 【本事業での主な参加者の声】（アンケート記述から一部抜粋）

- ・身近なものを使って見せる実験がとても良かったです。実験は、大人も子どもも夢中になれるものだと実感しました。ありがとうございました。
- ・楽しく学べてとても有意義でした。やはり、理科は面白い。実験で驚きがたくさん生まれる。講師の先生のような授業ができると、理科好きの子どもが増えると思いました。
- ・実際に結晶を見たり、精密なてんびんを手作りしたり、どれも子どもが興味をもって楽しく授業に向かえる内容で、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・溶けた粒子があつという間に現れたり、雪のように降ってきたりする様子を観察した時は、とても感動しました。きっと子どもたちも同じように歓声をあげるだろうと思いました。豆知識などを交えながらの講座で、授業を受けている気持ちになりました。楽しい研修でした。

## 【来年度以降の実施に向けて】

本校教員へのアンケート調査結果から、日頃、上手にできない観察・実験や、指導が困難な単元や学習について、研修し、授業改善を図りたいと考えている。